

第110号 2025年 8月 1日

発行所／神山復生病院 〒412-0033御殿場市神山109 (Tel)0550-87-0004 (Fax)0550-87-5360
(E-mail)info@fukusei.jp (ホームページ) <https://www.fukusei.jp/>



《 理 念 》

神山復生病院は キリストの愛に基づいて 病める人も健やかな人も 神によって創られた人間として
喜びも苦しみも共にしながら 一人ひとりの命を大切にし 希望をもって医療と福祉に献身します



特定行為看護師をご存じですか・・・？

看護部長 杉山美貴子

今年は梅雨に入った途端に梅雨明け宣言がされるなど、異例の速さで厳しい暑さの夏がやってきました。連日 30 度を超える気温が報じられており、テレビの気象予報ニュースでは、真っ赤な日本地図が映し出されています。ご高齢の方々は、この季節を無事に過ごすことが出来るのか、不安を感じておられる方も多いのではないのでしょうか？

そのような方々の強い味方になれる看護職がいることをご存じですか？その看護職は、特定行為研修を修了した看護師、いわゆる「特定看護師」です。チーム医療を推進し、看護師がその役割をさらに発揮するため、2014 年 6 月に「特定行為に係る看護師の研修制度」が創設されました。2015 年 3 月には、制度の詳細が定められた省令および施行通知が発出され、10 月より研修制度が開始されました。

神山復生病院ではこの研修制度を活用し、2019 年当院では初めての特定看護師が誕生しています。医師との協働により手順書を作成し、特定行為の活動を開始しました。活動の主なものはチューブ類の交換や P I C C と言われる中心静脈カテーテルの挿入・管理、また脱水が危惧される患者さんの体液補正や褥瘡の管理など多岐にわたっています。研修の中で学ぶ臨床推論から、患者さんの状態を適切に把握し、何をすればよいのかを導き出す能力が高いと感じます。

特定看護師は地域の皆様の病気に関連する心配事や状態の改善のために、お役に立てることを希望しています。在宅で病氣療養をされている方々、訪問看護や介護、また往診などをご利用いただいている方々は、ぜひ特定看護師にお声かけ下さい。神山復生病院にお問い合わせいただければ、地域の特定看護師さんと連携することが可能です。安心して過酷な夏を乗り越えるためにも、地域の看護職を頼っていただけると嬉しいです。どうぞ遠慮なくお問い合わせください。





駒沢女子大学 看護学統合実習

ホスピス病棟 小林智恵

6月19日・26日の2日間に4名ずつの学生さんが実習に来られました。前日は国立駿河療養所で翌日に当院の実習を行っています。

記念館の見学を通し国立駿河療養所とは違う特徴があり、当時のハンセン療養者の生活環境を知っていただくことができました。

講義は緩和ケアにおいて重要な「トータルペイン」についてお話をしました。具体的なケアや患者さんとの関わり方を伝え、病棟見学を通し終末期の緩和ケアについてイメージできたのではないかと思います。ディスカッションは質問や疑問にお答えする時間を取り、将来はホスピス・緩和ケアに携わりたいという希望がある学生さんが多いことを知ることができました。

終末期は人に触れるケアが大切で、人を看る看護が発揮できるところがホスピスだと思います。自分の看護観・死生観を大切にしながらこれからも頑張っていきたいと思っています。

トータルペインとは身体的な痛みだけでなく、精神的な苦痛、社会的な苦痛、スピリチュアルな苦痛といった患者が経験する様々な苦痛を包括的に捉える概念です。



日本カトリック神学院 神学生来訪

シスター徳永美智子

復生記念館の展示室に古い写真が飾られています。1955年ごろのカトリック教会の司祭の写真です。司祭（神父）の道を歩むために日本カトリック神学院があり、約8年間の養成の時期を過ごします。

キリスト教には大きくカトリック教会、プロテスタント教会、正教会があります。神山復生病院は1889年にカトリック教会の司祭（神父）によって創立された病院です。1931年に第6代目院長であった岩下壮一神父時代に東京カトリック神学院との対抗野球試合から神学生との交流が始まりました。この交流は幾多の困難な時代を乗り越えて、現在まで続いています。今年は6月26日（木）に5名の神父様と神学生15名をお迎えしました。野球やゴルフ大会を行う事はありませんが、5名の神父様がたと神学生とのミサ聖祭を中心に交流の場を持つことが出来ました。人々に神様の愛を伝えていく司祭になられるように祈りたいと念じています。



不二聖心女子学院 奉仕の日

シスター徳永美智子

不二聖心女学院の奉仕の日 6月27日（金）毎年、不二聖心女学院では奉仕活動の一環として、カトリック施設での奉仕の日が設けられています。今年も御殿場カトリック教会と聖マリア幼稚園、神山復生病院、小山町にある駿東学園の施設でボランティア活動が行われました。

神山復生病院には生徒15名（高1：5名 高2：5名 高3：5名）が復生記念館のホールや地下室等の清掃に汗を流しました。午前の清掃が終わり、昼食後はDVD鑑賞を通して復生病院の歴史を学ぶ時間を設けています。不二聖心女学院の一角に岩下家の墓地があります。岩下家と復生病院とのつながりは第6代目院長である岩下壮一神父を通してです。創立136年を迎えた神山復生病院の長い歴史には多くの方々の思いが詰まっている事に感謝する日々です。



← 記念館玄関ガラス磨き

↓ 地下の掃除





国際スクールナース学会 記念館見学

記念館 森下裕子

第 22 回国際スクールナース学会が時之栖で開催され、7 月 22 日の専門ツアーの一つとして神山復生病院の復生記念館の見学が行われました。

国際スクールナース学会は、世界の共通の子供たちの心身の健康課題にかかわる実践や研究、そして子供たちを取り巻く支援や制度の現状などについて議論する場で、日本で初めて御殿場市で開催されました。世界 30 か国から、子どもの教育、医療、福祉、健康に携わる医師や看護師、養護教員、教員、保育士、ソーシャルワーカー、研究者など 150 人が参加、『多様な社会に生きる子供たちの未来のためにー世界とつながり、学び合い、専門性のさらなる深化へー』の大会テーマで 7 月 20 日～24 日まで行われました。

当日は 20 名ほどが復生記念館を訪れました。半数以上の方が外国人でしたので、通訳を交えての説明で専門用語も多い中、皆さん興味深く見学していただきました。特に、井深八重さんのコーナーでは、ハンセン病で入院してその後誤診と分かり看護婦の資格を取り、以後生涯復生病院で過ごしたとお話すると、感心して展示の品々をご覧になる方も多かったです。

40 分と短い時間の見学でしたが、日本で初めてフランス人宣教師によって開設された、ハンセン病療養所の歴史やここで暮らしてきた病者、司祭、シスター、看護者など、病院に携わった方々のことを知っていただく機会となりました。

オーストラリアからの参加者の方からコアラのキーホルダーをいただきました。参加者の皆様には見学の記念に復生記念館特製のポストカードを差し上げました。そして、8 月に病院の夏祭りで行う魚釣りを用意し、体験していただきました。

神山復生病院が見学していただいた皆様の心に残り、日本での良い思い出になっていただけたら幸いです。



←ポストカード

今回のおすすめ



『群馬名物「焼きまんじゅう」』

江戸時代から続く群馬名物焼きまんじゅうをご紹介します。

焼きまんじゅうは蒸した饅頭（餡入り、餡無しの 2 種類があります）を竹串に 4 個刺し、甘い味噌を塗って炭火で焦げ目をつけて食べます。冷めると固くなってしまうので焼きたてをご賞味ください。私は焼きまんじゅうが大好きで学生時代は帰省すると必ず 2～3 本は食べていました。

群馬には他にも登利平弁当、水沢うどん、ハラダラスク、永井食堂のモツ煮など名物がたくさんあります。是非群馬旅行の際にはご賞味ください。ぐんまちゃんもお待ちしております！！

（紹介者 マリア診療所 下山延子）





内科外来担当表

緩和ケア外来は予約制

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午 前	大橋琢也	吉津紗綾香	江藤秀顕	江藤秀顕	吉津紗綾香	大橋琢也 (第 1, 3, 5 週) 第 2, 4 週休診	休 診
午 後	休 診	休 診	休 診	休 診	休 診	休 診	休 診

特定検診の予約を承っております。

小規模多機能型居宅介護事業所 マリアの家

通い・宿泊・訪問介護 随时お受けいたします

ご利用方法

介護保険について・介護相談・高齢者一人暮らし中の不安など、お気軽にご相談ください。

連絡先

〒412-0033 御殿場市神山 738-44

☎0550-87-3880 FAX0550-87-3887 担当 小野・衛藤

※訪問介護の内容については、ご相談ください。



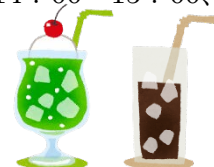
お喜楽カフェ（認知症カフェ）を始めます

お喜楽カフェ（認知症カフェ）を始めます。

看護部長 杉山美貴子

認知症カフェは、オランダで始まったアルツハイマーカフェを源流として世界各国に様々な形で広がっていきました。日本では、2012年の認知症施策推進5か年計画（オレンジプラン）にて初めて明記され、新オレンジプランでは、全市町村設置を目指すことが示されました。現在御殿場市内では、4つのカフェが運営されており、お喜楽カフェは新入りとなります。地域の皆様の交流の場としてご利用いただければと考えておりますので、どなたでもふらりとお立ち寄りください。第1回目は7月27日（日）14:00～15:00、病院敷地内マリアの家のテラスにて開催しました。

今後の開催予定日は、回覧板にてお知らせいたしますのでお楽しみに・・・。



編集後記

今年は、あっという間に梅雨が明け、「猛暑が長期戦になる」と言われていますね。そんな中、8月7日には立秋を迎えます。

秋冬を元気に過ごすためにはこの時期の養生が大切です。…とはいえ、あまりの暑さに冷たい飲み物や食べ物に手が伸びてしまいがちです。

秋の気配を感じられる日まで、この厳しい夏を上手に乗り切りましょう。次号もお楽しみに！

